木材利用促進法が制定され低層の公共建築の原則木造化など、 今後様々な場面で木を使う取り組みが本格化してゆくことが予想されます。

KTCの木構造メニュ

ヘビー ティンバ**ー**工法 「大断面集成材」

大断面集成材を構造に用い、主に挿入鋼板をドリフトピンやボルトで 接合する工法で現在最も普及し広く木造大型建築に利用される工法です。

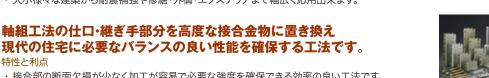
大スパン構造など今まで鉄骨造やRC造でなければ不可能と思われていた大型建築物を 「美しく木造化」する可能性を広げています。

集会所・体育館・学校などの公共施設、工場など生産施設・大型の畜舎など農業施設にKTCの ヘビーティンバー工法は幅広く採用されています。



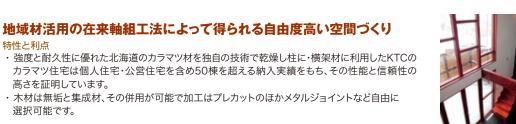
コネクター ジョイント工法 「ホームコネクター」 木材接合部に中空式の金属コネクターを挿入し 接着剤を充填する画期的な接合技術です。

- ・接合部はガタが無く剛接合で一方向・二方向ラーメン構造や特殊なデザインが可能。
- ・ 金物が露出しないため耐食・耐火性能に優れ、美しい仕口/継ぎ手が完成します。
- ・接合部の構造計算が容易に出来、必要に応じた強度のコントロールが可能です。
- ・ロッドと接着剤の性質上、木材と石やコンクリート・鉄骨など柔軟異種接合が可能です。
- ・大小様々な建築から耐震補強や修繕・外構・エクステリアまで幅広く応用出来ます。



ジョイント工法 「テックワン・クレテック」 現代の住宅に必要なバランスの良い性能を確保する工法です。 特性と利点

- ・接合部の断面欠損が少なく加工が容易で必要な強度を確保できる効率の良い工法です。
- ・施工性に優れ無垢材集成材など素材に左右されず、柔軟な利用が可能です。



丸太組工法

1983年 全国に先駆けて道産材ログハウス専門工場を稼働し、 既に国内400棟を超える実績を持つKTCのログハウス建築

- ・高性能なカラマツ「3層ラミネーテッドログ」をはじめ直径30cmの大径ログや美しい楕円ログなど 建築規模や用途に合わせた豊富なバリエーションがあります。
- ・KTCの美しいログハウス建築は住宅やセカンドハウスもちろんホテルやレストラン、国立公園など の建物や児童館など景観や癒しの必要な施設にも幅広く採用されています。



website

KTCの建築スタッフは国産初のログハウスに始まり 二十数年にわたって国産材・北海道材・地域材を 活用しながら様々な木造・木構造で実現してきました。 「KTCスタッフ」が、その実績とノウハウを活かし 「木造化の夢」をご支援します。



総責任者 横井 亮司 (厚浜木材加工(協) 常務理事)

設計責任者 加工・施工スタッフ

(厚浜木材加工(協) 専務理事)

(厚浜木材加丁(協) 丁事長)

JAS集成材製造 (厚岸木材工業(協)工場長)

JAS製材·製造 鈴木 雄一郎(丸善木材(株) 代表取締役専務)

厚浜木材加工協同組合

https://www.kouhinmokuzaikakou.com Mail: kouhin@zpost.plala.or.jp

北海道釧路郡釧路町桂3丁目17番地(釧路営業本部 TEL.0154-36-7988 FAX.0154-36-7971

北海道浜中町茶内旭3丁目1番 TEL.0153-65-2321 FAX.0153-65-2206

丸善木材株式会社 http://www.maruzenmokuzai.com/ 北海道釧路郡釧路町桂4丁目15番地 TEL.0154-37-1561 FAX.0154-36-3834 厚岸木材工業協同組合

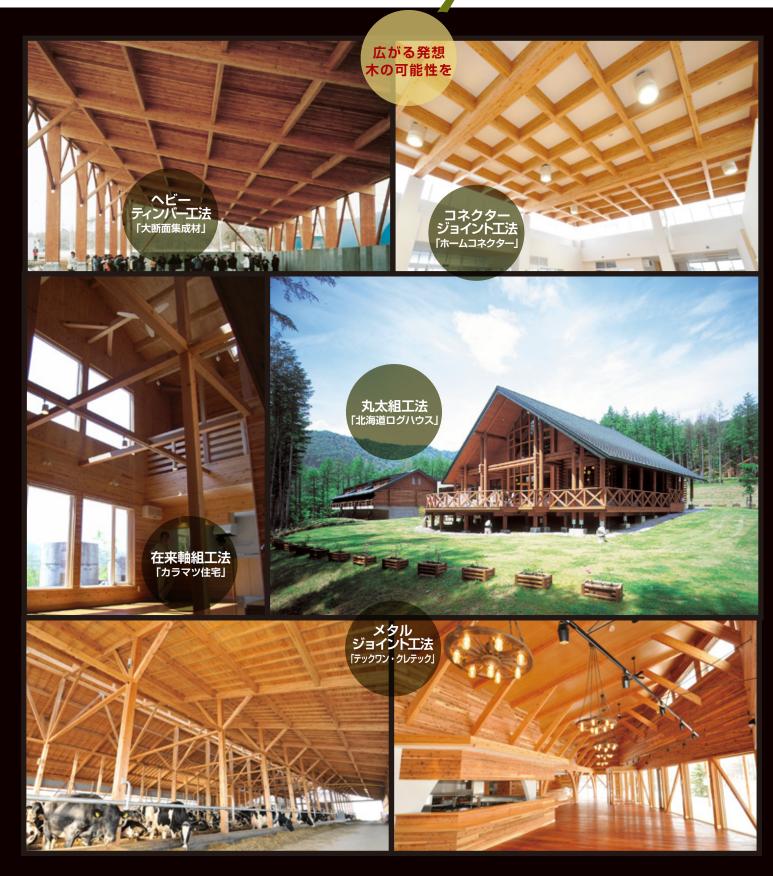
北海道厚岸郡厚岸町山の手2丁目22 TEL.0153-52-2633 FAX.0153-52-2608 北海道木質構造開発協議会

北海道釧路市昭和南5丁目4番6号 TEL.0154-55-6355 FAX.0154-52-2277

Kouhin Timber Construction System コウヒン・ティンバー コンストラクション システム

工法提案~設計支援~素材~加工~施工までのトータルサポートシステム

KTC-System





進化し続ける木造建築技術をご覧ください。



建築における「木造化」「国産材化」という時代の要請は、「低炭素社会」を実現するための必要不可欠な前提として、多くの人に認知され、現在ニーズが高まっています。 そのニーズに応える建築例として2010年、北海道浜中町に「林業・林産業従事者研修センターハウス」が竣工致しました。

林業・林産業従事者研修センターハウス









建物止面外奏の縦格子は厚さ35 mmの板材(印250mm・長さ2700mm) を長さ方向で斜めに切り分け、縦に傾斜した格子として用い彫りの深い表情を与えています。また、外構資材としてボーチ、スローブ部に木レンガ、建物周囲にウッドチップを配っています。



外装は左側から厚さ14mmの窯業 系サイディング貼り、厚さ15mmカラ マツ板材の大和貼り、カラマツ材の 壁パネルで構成、手前に 見える木レンガは保育室に面した テラスとなっています。



羽目板貼り、大和貼り、壁パネル、 格子組みなどのカラマッ外装材に 配色を施し、金属板、サイディング などとの組み合わせで単調な建物 形態の外観に変化と調和を図りま した。



内装はカラマツ・トドマツ羽目板を使用、開口部枠はトドマツ集成材を使用する等、温もりある空間に仕上げています。



床も厚さ30mmのカラマッフローリング、床材としての堅さを 保ちながら広葉樹床材では得られない暖かさがありま す。カラマツ材の新たな可能性を。テーブル天板もカラマ ツ材(集成材)で製作しています。